

トコトンやさしい ゴム・エラストマー製品の 型・射出成形と品質向上・トラブル防止策

日時
2018年 2月9日 (金)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

税込受講料

1名 47,520円
2名以上1名 43,200円

講座概要 POINT ゴム・エラストマーは、原材料・配合剤の選択、混練方法、成形加工条件によって品質が左右されます。より良い製品を作るためにはゴム特性・加工特性を把握し、最適なゴム材料を設計し、市場環境に対応した製品設計が求められています。特に、ゴム加工はバリ無し成形・不良ゼロへの挑戦に尽きると言えます。また、成形加工精度を向上させるポイントやトラブル対策を知ることで、品質向上につながります。最近、第4次産業革命とよばれるIoT(インターネットのモノづくり)にゴム加工への課題にも触れます。講演終了後、ゴム・樹脂製品の開発およびトラブル対策の技術相談を行います(30分ほど希望者のみ)。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- 参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- 受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- 開催日前14日以降のキャンセルは受けできません。
- 受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師

奥本忠興氏 工学博士 技術士(応用理学部門)
NPO法人テクノプロス副理事長 (元)豊田合成(株)技術開発部長

主な内容

- ・ゴム・エラストマー材料加工のルーツ
- ・現代のゴム配合、混練、練生地加工と課題
- 1 三種の神器(硫黄、亜鉛華、ステアリン酸)の一つが欠けるとどうなるか
- 2 配合剤の投入順序とステージ練(マスターバッチ)は減らせないか
- 3 練り生地はなぜ熟成するのか、熟成しないとどうなる
- 4 一番難しいカーボン分散の手法をマヨネーズ造りに学ぶ
- 5 ムーニー粘度と加硫度の測定するところの意味 ほか
- ・技術革新をもたらす型・射出成形加工の期待
- 1 ゴムコンパウンドの狙いとコンプレッション成形
- 2 樹脂の成形技術に学ぶゴムのバリ無し成形の型設計
- 3 ゴムのバリ無し成形に真空成形の条件とは型構造。
- 4 型洗浄と1ショット目の異物不良 5 歩留まりゼロか不良率0パーセントか
- 6 成形加工・市場での品質・トラブル事例 ほか
- ・硫黄架橋の理論と加硫剤
- 1 硫黄はどこで架橋し、いくつ繋がり、架橋点間の距離はいくらか
- 2 硫黄は固体か液体か、またそのうち何%が架橋に
- 3 他の加硫剤(不溶性硫黄とパーオキシサイド)の注意点など
- ・分析・計測の問題
- 1 イオウ加硫はなぜ高温圧縮永久ひずみが悪いのか
- 2 白い斑点、黒い異物の原因解析からの新スペクトル法による検出
- 3 ゴム製品の強度は2軸方向の引張試験を行わないと話のできない製品がある
- 4 NBR加硫ゴムのカーボン量の誤差補正と分析技術の向上
- ・IOTをゴム加工工程に導入したときの技術課題
- 1 レーザー刻印・バーコードの履歴管理システムによる、NC/NR
- 2 宅配・回転すし・スーパーマーケットのIOTをゴム加工工程の合理化へ
- 3 予備成形・加硫成形・製品検査の自動化システムへのソフトとハード開発課題

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

参加申込書 ゴム・エラストマー製品の型・射出成形と品質向上・トラブル防止策

セミナーコード

1101-180209

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/2/9 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課 (正式名称)	氏名	E-mail アドレス	-
				()
			FAX	-
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				